

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 平成17年3月22日から			
総合計画	大項目	基本目標	06 健全で自立したまちづくり
	中項目	基本施策	01 簡素で効率的な行政運営
	小項目	施策	09 その他事務管理(議会)
事務事業名			01 市議会運営事業
根拠法令・例規等			地方自治法 備前市議会会議規則 備前市議会委員会条例
問合先			担当課(室) 議会事務局 職・氏名 議事係長 桑原淳司 電話 0869-64-1803

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	市議会議員・市内の有権者
目的(何のために)	円滑な議会運営を行うとともに市民の議会に対する関心と理解を深めていくことを目的とする
行政活動(どのような方法で)	議会運営・委員会運営・議会中継
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	議会及び議員の活動を市民に知ってもらい、理解と関心を深めてもらうとともに市民にわかりやすい議会運営に努め、本会議などの傍聴者や議会中継の視聴者を増加させる

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	本会議会期日数	日	92	91	89
	本会議時間数	時間	68	57	59
	委員会等開催回数	回	89	75	76
実績	直接事業費	千円	112	55	53
	必要人員	人	2.20人	1.50人	1.38人
	必要人件費	千円	19,373	12,330	10,970
	事業費	千円	19,485	12,385	11,023
	国・県・市・支・出・金	千円			
	受・益・者・負・担・金	千円			
経・入・金	千円				
市・債	千円				
そ・他	千円				
一・般・財・源	千円	19,485	12,385	11,023	
受・益・者・負・担・比・率	%				

結果指標					
結果指標①	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	本会議時間数	時間	68	57	59
	対前年対比	%	-	83.8%	103.5%
	活動コスト	円	11,015,000	6,287,000	5,114,000
結果指標②	結果指標名	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	委員会等開催回数	回	89	75	76
	対前年対比	%	-	84.3%	101.3%
	活動コスト	円	7,581,000	5,587,000	5,506,000
単位当たりコスト	円	85,180	74,493	72,447	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
本会議・委員会傍聴者数及び議会中継視聴者数	目標値(A)	15000	15000	20000	20000
	実績値(B)	10106	9296	9317	到達目標年度
	達成率(B/A)	67.4%	62.0%	46.6%	21年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
議会に対する関心度を測る					
傍聴者数(本会議・委員会等) + インターネットアクセス数(生中継・録画中継)					

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	法律で定められた事務であり、妥当性については異論のないところである
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託等)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> C 判定理由・課題認識
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価<A~E> B 判定理由・課題認識
有効性の評価	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	広報紙や議会ホームページなどで積極的に情報を提供し、議会に対する市民の関心を高めていかなければならない

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	55	結果指標量②	75	成果指標量	20,000
状況	拡充		現状継続		見直し	○
	縮小		整理統合		休止	
説明	一般質問において再質問からの一問一答方式や議案書等の資料を傍聴者が閲覧できるようにするなど分かりやすい議会運営を行っている					

総合評価		評価区分<A~E>
傍聴者にとって本会議での内容が分かりやすく、より良い傍聴環境にするために、運営方法の改善や音響設備の改修などを行っているが、本会議や委員会の傍聴者は減少している。しかし、インターネットでの議会中継の視聴者は増加している。今後、ホームページや広報誌などで本会議や委員会の開催日程などの情報提供を積極的に行い、本会議などの傍聴者や議会中継の視聴者の増加に努める。		B 

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	効果的・効率的な議会運営を行うため委員会活動の充実を図る					
	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果		
改善がある場合						